

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
リハビリテーション特別講義Ⅱ			選択	1	1・2	後期	
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
三科 貴博 他		D317	t-mishina		火曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要		医療や福祉の第一線で活躍している先輩を招き、それぞれの専門性を学び、理解を深める。また、実際の臨床の課題や実践的な話を聞くことによって、将来、臨床において連携し、協働できる臨床家になることを目指す。テーマを設定し関連する臨床家が、それぞれの専門の見地から実践の成果等に関する話題を紹介・解説する。Teams (Microsoft) を利用して同時双方向型遠隔授業を行う。					
学習上の助言		臨床家の各職場での実践的な内容を展開するので意欲を持って主体的に学習して欲しい。					
教科書		特に指定しない。					
参考書		特に指定しない。					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針		
①	当該分野に関する知識や認識を深めて、視野を広げて考えることが出来る。				HSU(1), HSU(4)		
②	当該分野における講義を聞き自分の意見を持ち要約 (表現) することが出来る。				HSU(2)		
③							
④							
⑤							
⑥							
授 業 計 画							
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)				
1	理学療法士として急性期病院で働くことについて考える。-事例を中心に (担当: 三科 講師: 田中)	同時双方向型授業	急性期における理学療法士業務を復習する。	4.5			
2	理学療法士として維持期施設で働くことについて考える-事例を中心に (担当: 三科 講師: 山本)	同時双方向型授業	維持期における理学療法士業務を復習する。	3.5			
3	作業療法士として急性期病棟で働くことについて考える-事例を中心に (担当: 小川 講師: 向山)	同時双方向型授業	急性期における作業療法士業務を復習する。	3.5			
4	作業療法士として支援学校で働くことについて考える-事例を中心に (担当: 小川 講師: 秋元)	同時双方向型授業	支援学校における作業療法士業務を復習する。	3.5			
5	社会福祉士として障害児施設で働くことについて考える-事例を中心に (担当: 瀧口 講師: 羽田)	同時双方向型授業	障害児施設での社会福祉士業務を復習する。	3.5			
6	社会福祉士として行政で働くことについて考える-事例を中心に (担当: 瀧口 講師: 丸山)	同時双方向型授業	行政における社会福祉士業務を復習する	3.5			
7	精神保健福祉士として施設で働くことについて考える-事例を中心に (担当: 瀧口 講師: 丸山)	同時双方向型授業	施設での精神保健福祉士業務を復習する。	3.5			
8	精神保健福祉士として病院で働くことについて考える-事例を中心に (担当: 瀧口 講師: 精進)	同時双方向型授業	病院における精神保健福祉士業務を復習する。	3.5			
試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	60	0	0	0	60
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

評価方法		評価のポイント		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
行動目標					
試験	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
レポート	①	✓	毎回の講義の内容を要約しレポート（100%）として提出し、その内容を持って評価とする。		各レポートにコメントを付けて返却する。
	②	✓			
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
成果発表	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
ポートフォリオ	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
その他	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
備 考					
<p>担当教員：◎三科 貴博、小川 麻里子、瀧口 綾</p> <p>学生は 1 回に 2 コマ連続で講義を聴講しレポートを提出すること。全 8 回のうち 3 回以上休むと評定の対象にならないので気をつけること。</p> <p>原則として 9～11 月最終週（12 月は中旬）の水曜 4,5 限に行うが、特別講師の都合により日程が変更する可能性がある。各回は以下の外部特別講師が担当する（予定）。</p> <p>9 月 30 日 水曜日 4 時限 田中 博之（貢川整形外科病院 臨床経験 15 年目） 5 時限 山本 貴大（山梨赤十字病院 臨床経験 10 年目）</p> <p>10 月 28 日 水曜日 4 時限 向山 秀（健康科学大学クリニック 臨床経験 5 年目） 5 時限 秋元 祐太朗（群馬県立伊勢崎高等特別支援学校 臨床経験 11 年目）</p> <p>11 月 25 日 水曜日 4 時限 羽田 柚有紀（知的障害者通所授産施設 pal-pal 放課後デイサービス事業所ばるっこ 臨床経験 1 年目） 5 時限 丸山 泰平（山梨県韮崎市役所 臨床経験 12 年目）</p> <p>12 月 9 日 水曜日 4 時限 丸山 愛永（山梨厚生病院 山梨厚生会グループホーム 臨床経験 1 年目） 5 時限 精進 直幸（日下部記念病院 臨床経験 15 年目）</p> <p>同時双方向型授業では Teams を使用します。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。最新のものを確認するように注意してください。</p>					